



FACE DUO



医療法人の特徴

多様なニーズに対応できる医療サービス

当院は、心身症・神経症・うつ病・統合失調症・認知症など、精神的な問題が関わるさまざまな疾患に対し、精神療法や投薬などの手段を用い、治療に取り組んでおります。「地域での生活の向上」と「病気の再発予防」を目的として様々な診断ツールを導入し治療プログラムに心理療法も取り入れながら、多様なニーズに応えられる医療体制を理想としています。法人内には就労支援事業所（G-STEP）も完備し、医療と福祉の強みを連携できる環境も整えて参りました。

導入のきっかけ

SSTの実践に利用する

当院では元々、神経認知リハビリテーション（NEAR）など様々な心理プログラムを実施して来ましたが、ソーシャルスキルトレーニング（SST）は暫く休止期間がありました。



そのため、VRでSSTを支援するFACEDUOが多様なニーズに応えられる機会になると期待したことが導入のきっかけになりました。Googleの台数はランニングコストに影響しないと伺って、それなら一度に多くの利用者にVRの面白さを感じて貰いたいと6台の購入を決めました。日々のクリニックでのショートケアプログラム、就労支援事業所の2か所で活用できており、複数台のVRの投入は成功だったと考えています。



理事長 寺田 浩 先生

G-STEPは、メンタルヘルス不調の方が、社会人として継続的に働けるよう、医療をベースとして多方面からサポートを行う就労移行支援事業所です。基本的には人に対する緊張を和らげることから始め、それぞれの個性に合わせた個別支援を行っていきます。場所は同法人のクリニック2Fに位置し医療サポートは受けやすい環境ですが、一方で駅から少し離れた場所にあり、就労支援施設としては決して便利な場所とはいえません。にもかかわらず、ここ最近では、利用者数は非常に増えています。

就労は、必ずしも住まいの近くばかりではない為、就労訓練において重要なことは立地よりも就労復帰の為の支援の質だというのが我々の考えです。通う方が自身の課題に気付き、個々の課題とニーズに合致したトレーニングを実践し継続できることが、日々の自信に繋がると考えています。そういった面で、昨今の利用者増の要因の一つに「FACEDUO」が一助になっていると考えています。



G-STEPでは提供するサービスに出来るだけ自由度を持たせています。認知機能の向上を意識したプログラムの中でも幾つものメニューを用意しています。実はそんな中でもダントツで人気を得ているのが、「FACEDUO」です。クリニックにおいてまず、VR-SSTを導入しましたが、G-STEPでは認知リハビリプログラムとして“感情認知トレーニングVR”を選択できるようにしました。このVRコンテンツは6つの基本感情から選択してルートを自由に選択しながら簡単なクイズ形式でプログラムを進めてゲーム感覚で取り組める点が人気の要因となっている様です。



(簡単なクイズ形式)

正直、VRという特性上敬遠する方が結構居られるのではないかと危惧していました。また興味本位で最初はやってみても早々に飽きてしまうかなとも想像していました。そんなスタッフの心配をよそに意外なくらいに受けが良く人気も継続しています。特に「怒り」、「喜び」の感情は人気が高い印象があります。「怒り」のテーマに取り組んでいる方が怒りを表現している様子がむしろ周囲の興味を誘い、希望者が増えている状況です。「喜び」を選択する方に理由を聞くと普段ははっきりと喜びを表現する事も少ないので、「喜び」がどんな感情か、表現をVRで確かめたいと仰っていました。



(表情の特徴を文字情報でも)

お陰さまで就労移行支援をするG-STEPの利用者はここ数ヶ月で倍以上に増えています。我々にとって多様な利用者のニーズに応える中で、既に「FACEDUO」の存在は欠かせないものとなっていますが、就労継続を含めた長期のアウトカムは興味深い関心事です。その点も注視しながら活用機会を更に加速していきたいと思っています。



G-STEPのサロン風景

詳しくは公式サイトにて

faceduo

検索

販売 Otsuka

開発・製造

JOLLY GOOD!